

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年7月12日

|     |             |      |               |
|-----|-------------|------|---------------|
| 施設名 | 高知県立のいち動物公園 | 所管課名 | 土木部<br>公園下水道課 |
|-----|-------------|------|---------------|

## 1 施設の概要

|        |   |      |  |
|--------|---|------|--|
| 指定管理者名 | 財団法人 のいち動物公園協会  | 指定期間 | 平成18年4月1日～平成21年3月31日<br>平成21年4月1日～平成26年3月31日 |
| 施設所在地  | 高知県香南市野市町大谷738  |      |  |
| 事業内容   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収</li> <li>2. 公園の施設及び物品の維持管理</li> <li>3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施</li> <li>4. 動物の飼育と展示</li> <li>5. 種の保存、自然保護、調査研究</li> <li>6. 県民やボランティア等との協働事業の推進</li> <li>7. 公園に関する要望及び苦情の処理</li> <li>8. 緊急対応体制の確立</li> <li>9. 清掃及び植栽管理</li> <li>10. 警備業務</li> </ol> |      |  |
| 施設内容   | <p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>【公園全体】<br/>                 面積: 19.9ha<br/>                 開館時間: 9:30～17:00<br/>                 休園日: 月曜日、12月27日～1月1日<br/>                 入園料: 大人450円(年間1,500円)高校生以下無料</p>   |      |  |
| 職員体制   | プロパー職員: 25名、県派遣職員: 2名、嘱託員: 8名 合計: 35名   |      |  |

## 2 収支の状況

単位: 円

|    |         | 20年度(決算)    | 21年度(決算)    | 22年度(予算)    |
|----|---------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 県支出金    | 324,521,556 | 327,862,969 | 329,454,000 |
|    | 利用料     | 24,243,060  | 25,726,740  | 27,181,000  |
|    | その他     | 0           | 112,500     | 0           |
|    | 収入計 (a) | 348,764,616 | 353,702,209 | 356,635,000 |
| 支出 | 事業費     | 0           | 0           | 0           |
|    | 管理運営費   | 163,187,944 | 165,259,419 | 159,144,000 |
|    | 人件費     | 185,576,672 | 188,442,790 | 197,491,000 |
|    | その他     | 0           | 0           | 0           |
|    | 支出計 (b) | 348,764,616 | 353,702,209 | 356,635,000 |

3 利用状況

|               | 20年度(実績)  | 21年度(実績) | 22年度(目標) |
|---------------|---|----------|----------|
| ①年間利用者数(単位:人) | 131,420   | 145,950  | 170,000  |
| ②利用者意見等の反映    | <p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)<br/>                     入園者や園外で業者に委託してアンケートを実施。<br/>                     回答数:<br/>                     【園内】210(20歳未満 4、20代 54、30代 85、40代 36、50代 20、60歳以上 11)<br/>                     【園外】106(20歳未満 18、20代 12、30代 38、40代 23、50代 6、60歳以上 9)<br/>                     イベントの認知度で夜の動物公園とお食事タイムが高い数値を示し、継続実施とした。<br/>                     動物科学館は園内アンケートで「行ったことがある」は34.3%で、「知っているけれど行ったことがない」が23.3%、「知らない」が42.4%という結果であり、入園者の誘導の仕方や魅力のある施設にリニューアルすることを検討中である。<br/>                     園外アンケートで遊具の設置を要望する数値が37%と高く、平成22年度に助成事業を活用して設置する予定である。<br/>                     来園者だけでなく、園外にもアンケートを実施したことは、入園者の掘り起こしにつながる取組であり評価できる。</p> <p>○ その他<br/>                     自主事業で実施している売店やレストランについてもアンケートを実施し、レストランの利用率が園内・園外で4割という低さとテイクアウト商品を望む回答が5割と多く、平成22年度にリニューアルを計画している。</p> |          |          |

4 平成21年度業務評価

| 項 目           | 状 況 説 明   |
|---------------|---|
| ①適正な管理運営の確保   | <p>概ね事業計画及び法令に基づく適正な運営管理が実施されていた。<br/>                     動物の飼育と展示では、国の経済活性化交付金事業を活用して展示施設・設備の新設、更新及び改修に取り組み、入園者の満足度の向上につなげ、飼育動物の環境の改善に取り組んだことは評価できる。<br/>                     また、動物の繁殖については、双子のチンパンジーの繁殖に成功し、国内では初めてとなる自然保育で順調に生育している。また、マレーグマの繁殖成功や他の施設との連携によりペンギンの孵化に成功する成果を上げている。<br/>                     さらに、職員の研修事業に積極的に取り組み今後の維持管理運営や企画力に成果を発揮できることを期待できる。</p>   |
| ②利用者サービスの維持向上 | <p>平成3年の開園から18年が経過し、平成9年の2次開園以降大幅なリニューアルも実施がない中、施設の老朽化や展示動物のマンネリ化等動物公園としての魅力が低下している状況から、国の経済活性化交付金を活用して、平成23年の開園20周年に向けたリニューアルに取り組み、何度でも入園しなくなる動物公園を目指して、次年度も継続して取り組んでいる。<br/>                     ライオンやゾウ等の大型動物を望む声はあるが、現在の施設内に整備可能な人を呼べる新規動物の購入や、動物園の使命としての動物の本来の姿を展示するための施設整備等、今後のいち動物公園が県民に愛され、入園者に満足してもらうために様々な方面からリニューアルを実施していることは評価できるし、専門的な知識や経験があるからできることであると思われる。<br/>                     さらに、上記のアンケートからも動物科学館の認知度が低く、また、知っているも入館しない入園者が存在し、魅力のある展示内容や入館への誘導の仕掛け等開園20周年に向けてスピード感を持ってアイデアを絞る必要があると思われる。<br/>                     また、施設整備や動物購入が完了すれば、順次リニューアルオープンを迎えるが、入園者の急増も考えられることから、気持ちよく入園してもらうために、渋滞や混雑への対策も必要になってくるとと思われる。<br/>                     園内で実施しているイベントに「園長と散歩」を追加し、月1回の開催で196名の参加実績を上げている。</p> |
| ③利用実績         | <p>開園以来の入園者が最低となった平成20年度と比較して、11%の入園者の増加がみられた。高速道路の1,000円効果を入園者の増加につなげるために、高速道路のサービスエリアにパンフレットを配布して取り組んだり、新企画を実施したりと取り組んだ結果であると思われる。また、チンパンジーの双子の成長がテレビ放映される等メディアで紹介される機会が増えた影響もあると思われる。</p>  |
| ④収支の状況        | <p>費目の内部調整はあるが、予算執行管理に努めた結果ほぼ予算どおりの収支状況であった。</p>  |
| 総合評価          | <p>概ね協定書及び事業計画に基づき適正に管理運営がされたと認められる。<br/>                     平成21年度は、来園者の利用満足度の向上のために、のいち動物公園として目指す姿を明らかにし、現状の問題点の解決と強みを生かしたりリニューアル計画に乗り出した1年間になったといえる。平成23年度に迎える開園20周年に向けて、リニューアルは継続しており、協会の専門性と知識や経験、また外部機関のアイデア等も取り入れながら、県内外から親しまれる施設を目指して取り組んで欲しい。<br/>                     また、リニューアル計画を広報するために県の関係機関等と連携を深めるとともに、広報媒体やツールの見直しにも取り組んでいくことが必要と思われる。</p>   |

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの